

いまや交通事故は、私たちの生命を襲う最大の脅威となっています。

いま一度、交通事故をなくすため、町民みんなで交通安全について考えてみましょう！！



特集Ⅱ

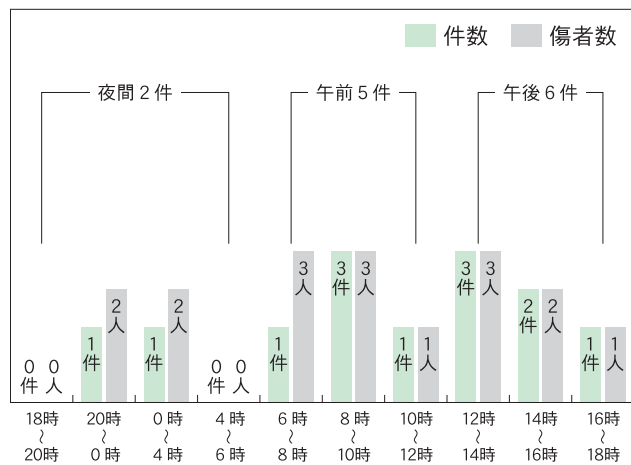
平成23年中に発生した長万部町の交通事故を分析



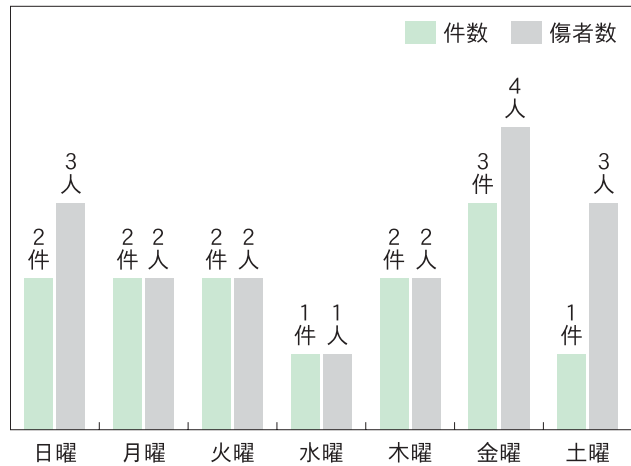
道路別	事故類型別	法令違反別	通行目的別
■国道5号〔6件・9人〕	■人対車両〔1件・1人〕	■酒酔い〔0件・0人〕	■業務〔7件・10人〕
■国道37号〔3件・4人〕	■自転車対車両〔0件・0人〕	■最高速度〔0件・0人〕	■通勤〔1件・1人〕
■国道230号〔1件・1人〕		■信号無視〔1件・1人〕	■レジャー〔3件・4人〕
■道道〔0件・0人〕	■車両相互〔12件・16人〕	■安全運転義務違反〔11件・15人〕	■その他私用〔2件・2人〕
■町道〔3件・3人〕	■車両単独〔0件・0人〕	■その他の違反〔1件・1人〕	
■高速道路〔0件・0人〕			

※〔件数・傷者数〕

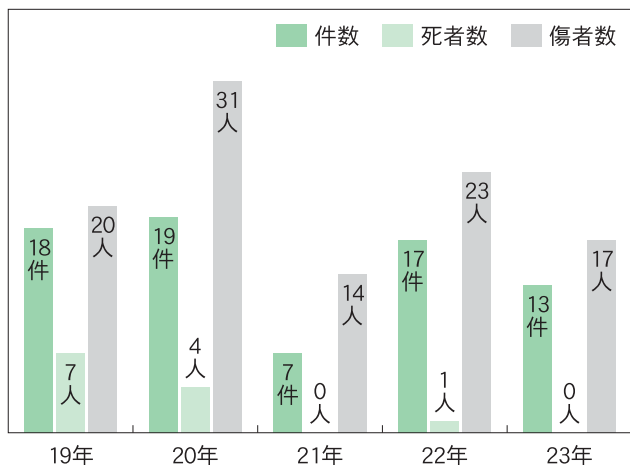
時間別事故発生状況



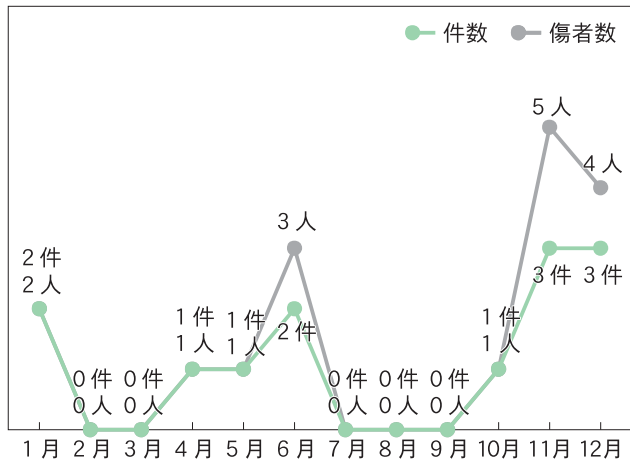
曜日別事故発生状況



年別町内発生交通事故の推移



月別町内発生交通事故の推移



ストップ・ザ・交通事故死

いめさせ 安全で安心な北海道

交通事故の多くは、運転者のほんのわずかな不注意によって発生し、予期せぬ悲劇を生んでいます。そして、被害者になっても加害者になっても、一瞬のうちに幸せな家庭を崩壊させてしまうのが交通事故です。

全国の交通事故による死者数は11年連続で減少し、北海道においては、昭和22年以来62年ぶりに全国ワーストワンを回避することができました。

しかし、交通事故死ゼロにはほど遠く、列島のどこかでほぼ2時間に1人が交通死しており、これだけ多くの交通事故が起きているにもかかわらず、自分自身の問題と考えにくいのが「交通事故」で、「交通事故との遭遇」は決して他人事ではありません。今月号では、交通事故撲滅の願いを込めて、昨年1年間に私たちの町で発生した交通事故を分析してみました。

死亡事故ゼロ 17人が重軽傷

長万部町内で昨年1年間に発生した交通事故は13件、傷者は17人で、昨年と比べて件数が4件の減少、傷者数も6人減少しました。

また、交通事故による死者数は昨年1人でしたが、今年は幸いありませんでした。

北海道全体では、死者190人と昨年より25人減少し、交通事故死全国ワーストワンを回避し、6位となりましたが、死者数が上位であることには変わりなく、手放しで喜べる状況ではありません。

交通事故の多くは 国道5号と37号で

道路別では、国道5号線が6件、37号線が3件で事故の約7割を占めています。

また、事故の約7割が他市町村からの通過車両による事故となっています。比較的に見通しの良い道路であることが、スピードの出過ぎや無理な追い越しなどの事故原因となっているものと思われます。

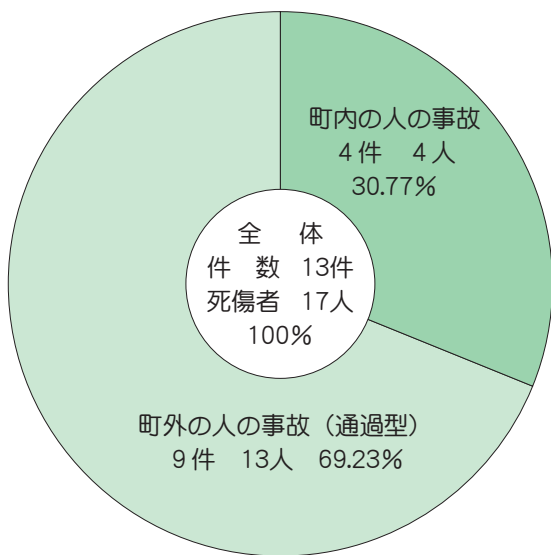
便利な自動車も 恐ろしい凶器に

類型別の発生状況を見ると、車両相互による事故が12件、人対車両による事故が1件となっています。法令違反別の発生状況では、ほとんどが安全運転義務違反（前方不注意等）となっています。便利な自動車も安全運転を怠ると、恐ろしい凶器になってしまいます。

ゆとりを持って スピードダウンで

時間別では、業務などで長万部町を通過する日中に11件

町内で発生した交通事故状況



休日等は 特に注意が必要

曜日別の発生状況では、どの曜日にも発生件数に大きな差はありませんが、傷者数では金曜日から日曜日にかけて増加しています。休日等は交通量も多く、気分的にも解放され、注意力が散漫になりがちのため、自動車を運転する際は特に注意が必要です。

の事故が発生しています。自動車を運転するときは、時間と気持ちにゆとりを持つことが大切です。